

# 姥堂小学校だより



平成28年度 第30号 平成29年1月20日(金) 発行責任者：遠藤幸栄

右の写真は、校舎の3階から見た朝靄の中に浮かぶ源太屋敷です。蘆名四天王の一人、平田氏の居城「鏡ヶ城」は、この場所に築かれていました。学校から見ると本当に直ぐそば。会津北辺の最も重要な拠点がここ姥堂にあったことを子どもたちに伝えたいと思います。



<朝靄に浮かぶ源太屋敷「鏡ヶ城」H29.1.17>



## 松の倒木を運んでいただきました



< 少しずつ切り刻まれ運ばれていきました H29.1.18 >



< 太い幹の真ん中に、地中にいくほど大きな穴が >

ところで、運ばれた松の横にも雪の重みに苦しんでいる松があります。今後同じような雪が降らない限り、倒れることはないとのことでしたが、念の為、支えを設置していただきました。この支えが折れては大変です。雪落としをまめにやることと、次年度に向けて、枝の剪定を市教委に依頼していきたいと思ひます。

先週号でお知らせした倒れた松ですが、18日(水)の朝、清本造園さんの手で刻まれ、運んでいただきました。

根本をチェーンソーで切ってみると、中には穴が空いており、地中にいくにつれて広がっているようでした。清本造園さんのお話では、地上の幹と同じように地中にも太い根があって、ここまで倒れている場合は、その主根の部分が折れており、修復は不可能であるとのこと。また、狭い庭に大木が三本並んで立っているため、どの木にとっても根を伸ばしづらい状況。真ん中の一本がなくなること、庭全体としては、バランスがよくなるようです。とは言うものの、夏の強い陽射しを和らげてくれた松には、全校生でお礼を言いたいと思ひます。「ありがとう。そしてお疲れ様でした」。



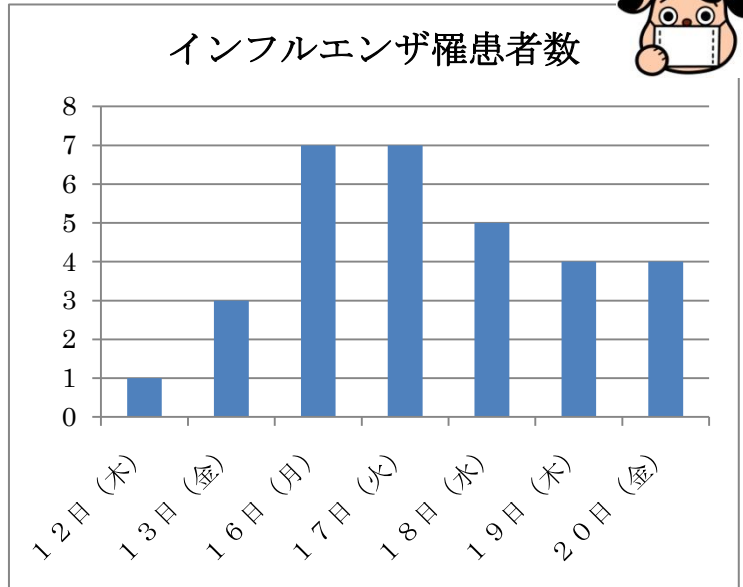
<隣の背の低い松も、支えをしないと大変な状況>

## ご協力ありがとうございました

本校では先週末からインフルエンザが流行し始め、今週は月・火曜日と2日間にわたって5・6年生の学級閉鎖を行いました。保護者の皆様には送迎等、ご協力いただきありがとうございました。ご心配をおかけしましたが、その後、新たな罹患者はなく、徐々に終息に向かっている状況です。

なお、お子さんに発熱などの症状がでた場合は学校までご連絡をお願いいたします。また、病院を受診していただき、結果をお知らせくださいますようお願いいたします。インフルエンザの出席停止期間は「発症後5日、かつ、解熱後2日が経過するまで」となっておりますが、詳しい欠席期間については医師の指示に従ってお休みください。

今後も手洗い・うがいを励行し、インフルエンザ等が蔓延しないよう努めて参りたいと思いますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。



## 大切に使いたい....



右の写真は、用務員の大竹先生お手製の画用紙の整理棚です。大竹先生には、先日、昇降口のわたり板をつくっていただきました。その際に余った材料を生かして、各学級のために拵えたのだそうです。最近、校内の物品が壊れてアンケートをとりました。子どもたちには、ものを大切につかう心と正直に申し出る勇気を育てたいと思っています。



＜ 大竹先生お手製の画用紙整理棚 塗装も見事！H29.1.20＞

